

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・予約状況が良く、生バンドによるコンサートも非常に好評であることから、先行きに期待が持てる。
		家電量販店（経営者）	・デジタル家電の動きが少し良くなってきている。提案次第で動きは良くなる傾向にある。
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数が1月後半から増えている。4月は各社のキャンペーンの時期でもあり、期待できそうである。
		高級レストラン（支配人）	・今後はイベント等による来客数の増加が見込めることから、先行きに期待が持てる。
		旅行代理店（店長）	・海外旅行の先行受注も前年比で130%を超える状況であり、先行きに明るさがみえてきた。
		旅行代理店（広報担当）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催、ビジットジャパンキャンペーンの浸透による訪日旅行の活性化等、明るい要素に期待できる。
		競輪場（職員）	・今月開催中の特別競輪の車券売上からみて、売上の減少傾向に一定の歯止めがかかったのではないかと考えられることから、先行きに期待が持たれる。
		美容室（店長）	・セット販売を行っている化粧品で商品がリニューアルされるため、販売増加が期待される。
		その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕（エリア担当）	・昨年度よりも店舗の新規出店、改装が増える。
その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・昨年半ばからの土地相場上昇による、不動産の先高感が少しずつ話題に上ってきている。また、この春の新規物件は相場上昇前の仕入物件が多く、ある意味で底値物件といえるため、需要喚起が期待できる。		
変わらない	変わらない	百貨店（売場主任）	・売上の中心となる衣料品では一部好調なブランドもあると予測されるが、全体的には新商品、新アイテム、ヒット商品に乏しく、従来の傾向から上向きになる可能性は少ないと思われる。
		百貨店（営業担当）	・福袋、マークダウンによる1月特有の売出しは非常に好調であった。しかし月末にかけて売上が減少しており、消費は低価格の商品に向けられている。今後プロパー時期に入っても低価格傾向が続けば、売上は不調に陥ると考えている。
		百貨店（サービス担当）	・春物の早期立ち上げや新ブランドの導入、店舗の一部改装により集客の強化は期待できるが、全体的に前年実績が確保できれば良い方だと思われる。
		スーパー（経営者）	・必要な物以外は買わない行動が定着してきたことから、素材関係の商品を中心に厳しさが予想される。しかし、その反面で一人用、二人用の調理済み商品など、捨てる部分の少ない商品が伸びてきていることから、ある程度落ち込みがカバーできると思われる。
		コンビニ（経営者）	・競合店の出店の影響は徐々に薄れ、来客数は少し戻ると思うが、単価の高いヒット商品が最近あまりなく、客単価が相変わらず伸び悩んでいることから、先行きの見通しは厳しい。
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売も少なく、車検台数もあまり良い兆しが見込めないことから、先行きの見通しは厳しい。
		都市型ホテル（支配人）	・新入社員の研修予約は例年通りであるが、他の部門の予約動向は今後に期待するしかないので、現状維持であると思われる。
		タクシー会社（経営者）	・客の様子から節約ムードが継続すると思われる。2、3か月先についても、必要人はタクシーを利用するが、それ以外の人は節約するという傾向が強いと推測される。
		観光名所（経理担当）	・来客数、販売額共に、11月、12月は前年に近い数字を上げられたが、今月は例年に比べて気候に恵まれた方であるにもかかわらず、来客数も販売額も上がっていない。新潟県中越地震、インド洋大津波の心理的な影響もあると考えられるため、当分この状況が続くと推測される。
		観光名所（経理担当）	・このところの業績不振により、来年度の販促、イベント等へ投入する金額にも限りがある。そのため状況は変わらないと考えている。

	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・これから先、2月は長期公演物が入ったため、フル稼働する。なお3、4月も各種コンサート、恒例イベント等が目白押しである。	
	住宅販売会社(従業員)	・一部好立地の高額マンション及び低価格の大規模マンションについては、売行きが好調であるが、中規模の一般ファミリーマンションは、販売を小出しにすることで契約率は好調にみえるものの、実情は苦戦している物件が多い。したがって今後も厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	一般小売店[時計] (経営者)	・近隣に大型ショッピングセンターが開店するため、オープニングセールにかなりの来客が予想される。ただ、バンド交換や電池交換など必要最低限の来客は期待できるが、それ以外は望めなくなるので厳しい状況が続く。	
	百貨店(売場主任)	・今月はクリアランス月で冬物商材にお買得感があったが、決して良い状況であるとは感じていない。今後春物の実需期に入るものの、購買動機のコアになる物が見当たらないことから、先行きの見通しは厳しい。	
	百貨店(売場主任)	・春先の不安定な気候が予想されるなか、先取りファッションの部分は多少みられるものの、ジャストシーズンという風潮が一層加速し、売上が伸びないと予測される。	
	百貨店(営業担当)	・業界を超えた競争が更に激しくなり、子供服などは郊外のショッピングセンターで買う傾向になってきている。また、高額品に対する引き合いは更に減ると考えられることから、先行きの見通しは厳しい。	
	観光型旅館(経営者)	・オフシーズンのなかでも一番弱い時期であるが、今年は更に愛知万博などが重なり、客の関心が中部地域へ流れるのではないかと懸念している。	
	都市型ホテル(スタッフ)	・婚礼はますます低調になることが予想される。宴会、宿泊は前年並みと思われるが、宿泊は愛知万博の開催により、大阪地区への観光客は国内、海外ともかなりダメージを受ける。	
	タクシー運転手	・夜の客が減少しており、この状況はまだ続きそうであることから、先行きの見通しは厳しい。	
	通信会社(営業担当)	・昨年はある程度の価格で売れたが、今は安くしないと売れなくなっている。春商戦では販売量は伸びると考えられるが、利幅を小さくして価格を下げねばならないと考えている。	
悪くなる	一般小売店[野菜] (店長)	・客の動きをみても良くなるとは思えない。周りの店でも閉める所が少しずつ増えてきていることから、先行きの見通しは厳しい。	
	観光型ホテル(経営者)	・3月末から始まる愛知万博の影響は避けられない。特に団体客は名古屋方面にかなり集中してしまうので、いかにマイナスを食い止めるかにかかっている。先の予約状況の数字からもマイナス効果を読み取ることができる。	
企業動向 関連	良くなる	金属製品製造業(管理担当)	・鋼材などの品不足で仕入価格が高騰するなか、当社は材料確保のめどが見ついたが、同業他社は確保のめどが見ついていないため、当社に注文が増えたと見込んでいる。
		建設業(経営者)	・公共工事、電線類地中化工事、土壌汚染調査共に受注量が増える気配がある。
		その他サービス業[イベント企画](経営者)	・愛知万博の影響が出てきており、良くなる。
やや良くなる	化学工業(経営者)	・昨年のような景気回復感はないが、高付加価値、特殊品などの利益率の高い物が伸びてきている。売上全体としては伸び悩むかもしれないが増益が見込まれる。	
変わらない	金属製品製造業(経営者)	・鉄鋼価格の高騰による影響を大きく受けられると思われるが、自動車関連については輸出も含め、まだ伸びていく。	
	一般機械器具製造業(経営者)	・3か月以上先まで受注済みであることから、引き続き好調が予想される。	
	電気機械器具製造業(経営者)	・景気を引っ張ってきた家電デジタル機器が値下がりし、薄利での販売が続く。	
	電気機械器具製造業(宣伝担当)	・薄型テレビ等のAV機器は堅調な推移を継続すると思うが、他の商品の伸び悩みは解消が難しいと思われる。	
	電気機械器具製造業(営業担当)	・工場設備の改修の予算見積があることから、好調の持続が予想される。	
	電気機械器具製造業(企画担当)	・得意先の受注状況等を総合すると、家電、住宅は若干悪いが、店舗、施設は依然好調が持続する見通しで、全体としては昨年とほぼ変わらない。	

		建設業（経営者）	・鋼材や石油の高値により建設資材の高値が続いている。一部の元気な業種が設備投資を行っているが、競争は厳しい。官庁工事も先細りであることから、引き続き厳しい状況が続く。
		輸送業（営業担当）	・一般貨物は引き合いが多く来ているが、運賃は従前のまま低く抑えられている。成約が難しい状況なので、このまま好転するとは考えられない。
		輸送業（総務担当）	・昨年に比べて大手メーカーの荷動きは活発になってきているが、中小企業については依然変化がないことから、厳しい状況が続く。
		不動産業（経営者）	・ペイオフ解禁の影響で収益物件への需要が増えているが、市内中心部等の良好な立地を除いて高い利回りを求める傾向にあるので、価格も慎重な状況が続く。
		不動産業（営業担当）	・神戸の中央区から芦屋方面にかけてのマンション用地は非常に引き合いも良く、値段も上がっているが、北区、西区の住宅用地、もしくは中央区の中心地での事務所ビルの需要はまだ少ない。そういった二極化が進んでいるため、まだ当面景気は横ばいで推移すると思われる。
		経営コンサルタント	・前年比が100%近くに達したクライアントが少なくなかった一方で、落ち込みの激しい小売業のクライアントでは、前年比が70%となったところもあり、明らかに二極化が進んでいる。このため、全体の景気が良くなるとはまだ思えない。
		コピーサービス業（従業員）	・3月から6月にかけて印刷関係は受注拡大が見込まれるが、今年4月から実施される個人情報保護法の影響でDM作成依頼等の規制が厳しくなるため、全体的には受注量が減少すると予測される。
	やや悪くなる	繊維工業（総務担当）	・この時期は売上の2割増しが例年の予測であるが、前年よりダウンするのは確実である。
	悪くなる	繊維工業（総務担当）	・靴下の国内生産品と輸入品比率は、輸入過多の状況が続いている。昨年だけみても、年初と年末では輸入比率が20%アップし90%になったとのことから、先行きの見通しは厳しい。
雇用 関連	良くなる	民間職業紹介機関（職員）	・震災復旧・復興対策のための補正予算が組まれるため、日雇い建設作業員の求人数増という波及効果が、もう一段大阪にも及ぶとの期待が高まっている。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・金融機関からの注文が絶えず来ていることから、先行きに期待できる。
		職業安定所（職員）	・先日実施した新卒予定者対象の就職面接会の状況を見ると、内定者が増加していることを反映して、参加学生数は前年比で約25%の減少となった。一方、参加企業数は早々と目標数に達し、申込段階で参加を断らなければならないほど、参加希望の企業が多かった。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・アウトソーシングを請け負う企業からの広告は、活発化しそうな気配であるが、その他の変化は当面望めないと考えられる。
		職業安定所（職員）	・求人はパートの伸びよりも一般求人の伸びの方が大きく、総じて堅調に推移している。しかし一方で、デジタル家電を中心に輸出が伸び悩むという不安や、雇用調整の動きが若干懸念されるという不安材料があることから、一進一退の状況が続く。
		職業安定所（職員）	・請負、派遣求人の増加が一段落し、製造業の大手企業による自社雇用の求人がみられるようになった。中小企業からの求人も新たに出始めていることから、先行きには引き続き期待できる。
		職業安定所（職員）	・業務増に伴う雇用拡大のような求人は少なく、欠員補充や慢性的人手不足の職種の求人が多く見受けられることから、今後もこの状況は変わらない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・年明けの来校社数は昨年と比べ少し減っている。中堅、中小企業は大手企業の動きをみながら採用計画を立てているので、採用情報の発信はこれから本格的に始まる。しかし、同じ業界でも勝ち負けが分かれてきており、企業の動きを注視する必要がある。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・特定スポンサーへの受注競争が激しく、単価を非常に安くしないと受注できなくなってきたことから、先行きの見通しは厳しい。

	民間職業紹介機関（支社長）	・デジタル家電関係の企業が短期的には引締めモードになりそうである。近畿は関連会社、周辺企業も含めて電機系企業の影響を大きく受けることから、先行きが懸念される。
悪くなる	-	-